

霧島山（御鉢）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
地域火山監視・警報センター
鹿児島地方气象台

＜噴火警戒レベル 1（活火山であることに留意）からレベル 2（火口周辺規制）に引き上げ＞
霧島山（御鉢）では、火山性地震が本日（9 日）08 時頃から増加し、11 時頃からさらに増加しています。

霧島山（御鉢）では火山活動が高まっており、今後、小規模な噴火が発生する可能性があるかと判断したことから、14 時 40 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル 1（活火山であることに留意）からレベル 2（火口周辺規制）に引き上げました。

【防災上の警戒事項等】

御鉢火口から概ね 1 km の範囲（図 6）では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石¹⁾に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石¹⁾（火山れき²⁾）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

○活動概況

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3、図 5-②～⑦）

火山性地震が、本日（9 日）08 時頃から増加し、11 時台に 18 回発生するなど、00 時から 15 時までに 61 回（速報値）と多い状態が継続しています。

14 時 44 分と 14 時 54 分には振幅が小さく継続時間が短い火山性微動が発生しました。

・地殻変動の状況（図 4）

傾斜計³⁾では、火山活動によると考えられる地殻変動は観測されていません。

・噴煙など表面現象の状況（図 1、図 5-①）

監視カメラによる観測では、火口縁を越える噴煙はなく、火山性地震の増加後、火口周辺や火口内状況に特段の変化は認められませんでした。

1) 噴石については、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。

2) 霧島山では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。

3) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1 マイクロラジアンは 1 km 先が 1 mm 上下するような変化です。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、宮崎県及び鹿児島県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『基盤地図情報』『基盤地図情報（数値標高モデル）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。



図 1 霧島山（御鉢） 御鉢付近の状況
（2 月 9 日 14 時 00 分、左：猪子石監視カメラ、右：御鉢火口南縁監視カメラ）
火山性地震の増加後、火口周辺や火口内状況に特段の変化は認められませんでした。

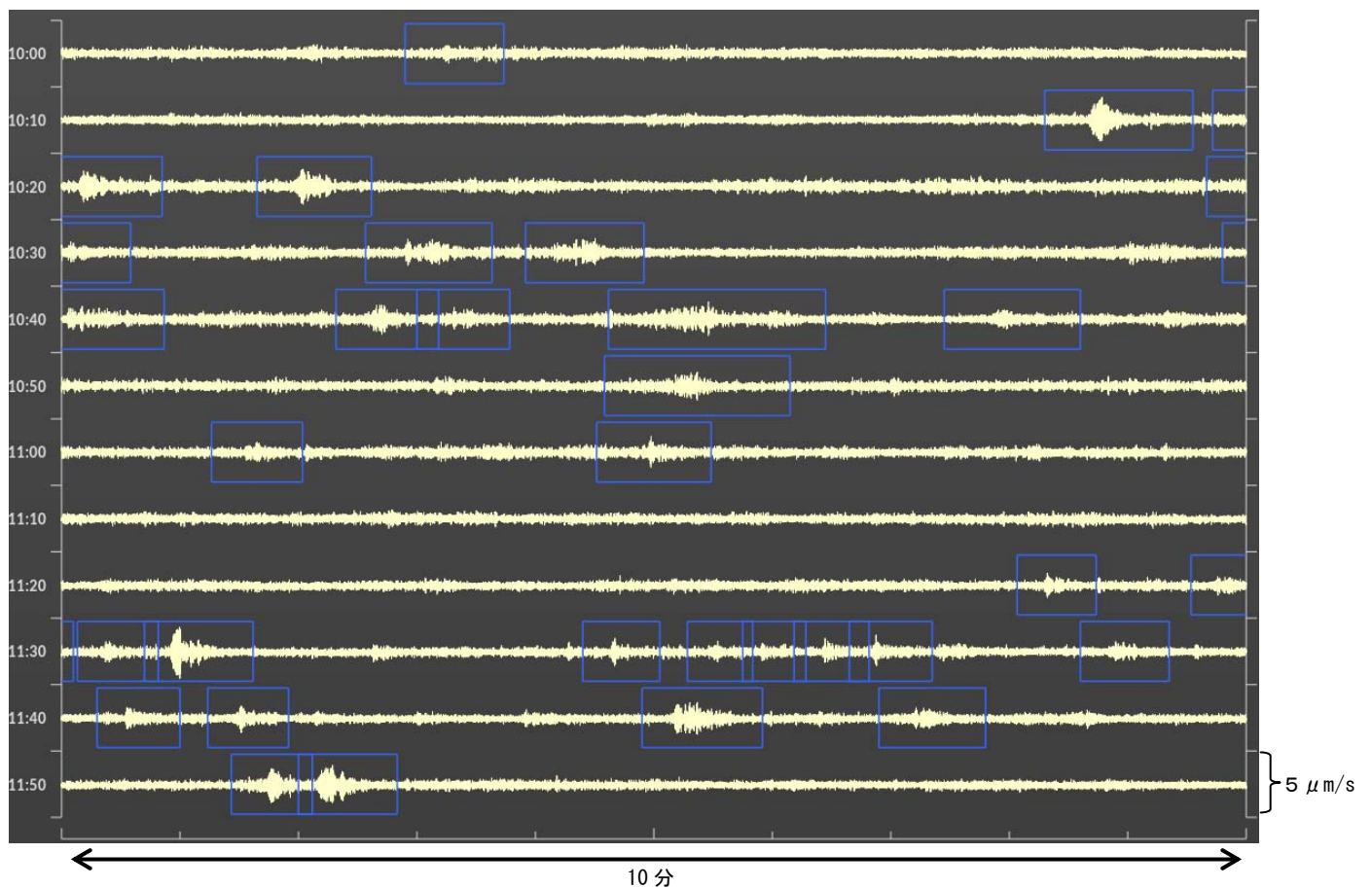


図 2 霧島山（御鉢） 火山性地震の発生状況
（2 月 9 日 10 時 00 分～12 時 00 分、高千穂西観測点東西動）
本日（9 日）08 時頃から火山性地震（図中の青枠）が増加し、11 時台に 18 回発生するなど 00 時から 15 時までに 61 回（速報値）と多い状態が続いています。

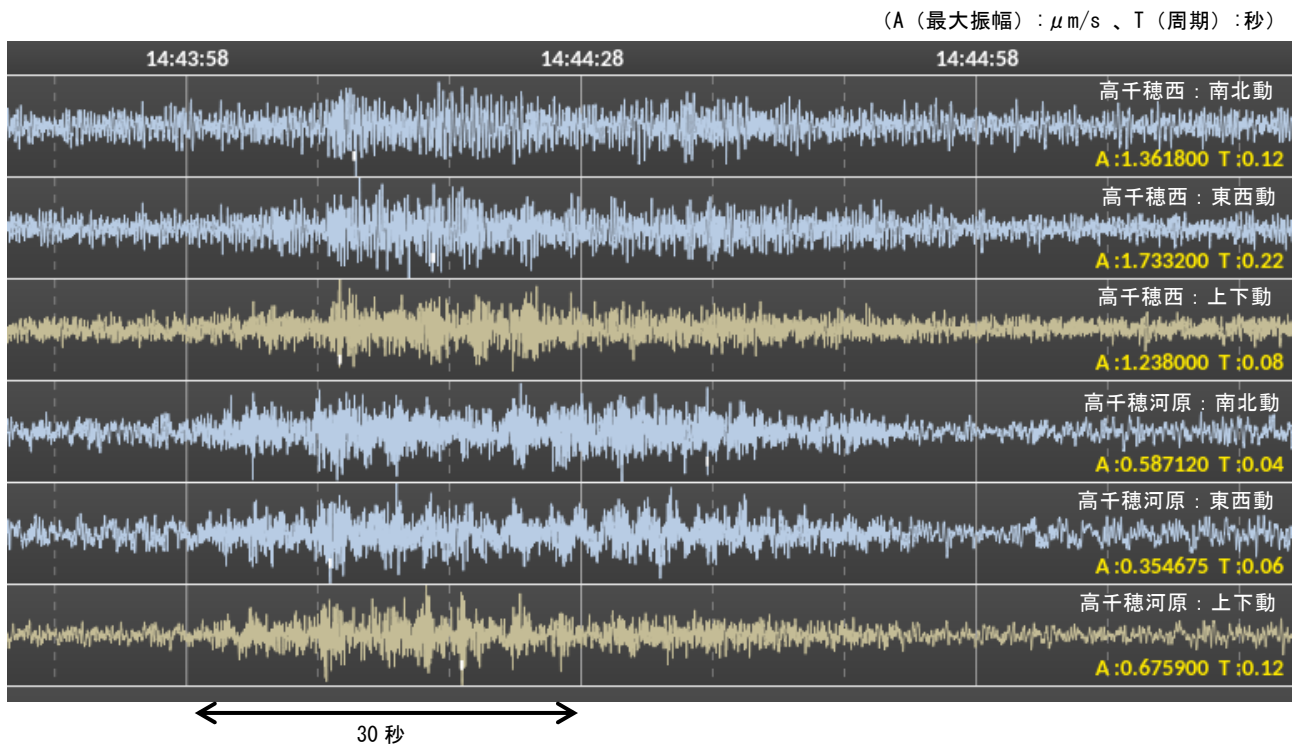


図 3 霧島山（御鉢） 本日（9日）14 時 44 分に発生した火山性微動の波形（2 月 9 日 14 時 43 分～45 分）
本日（9 日）14 時 44 分と 14 時 54 分には振幅が小さく継続時間が短い火山性微動が発生しました。

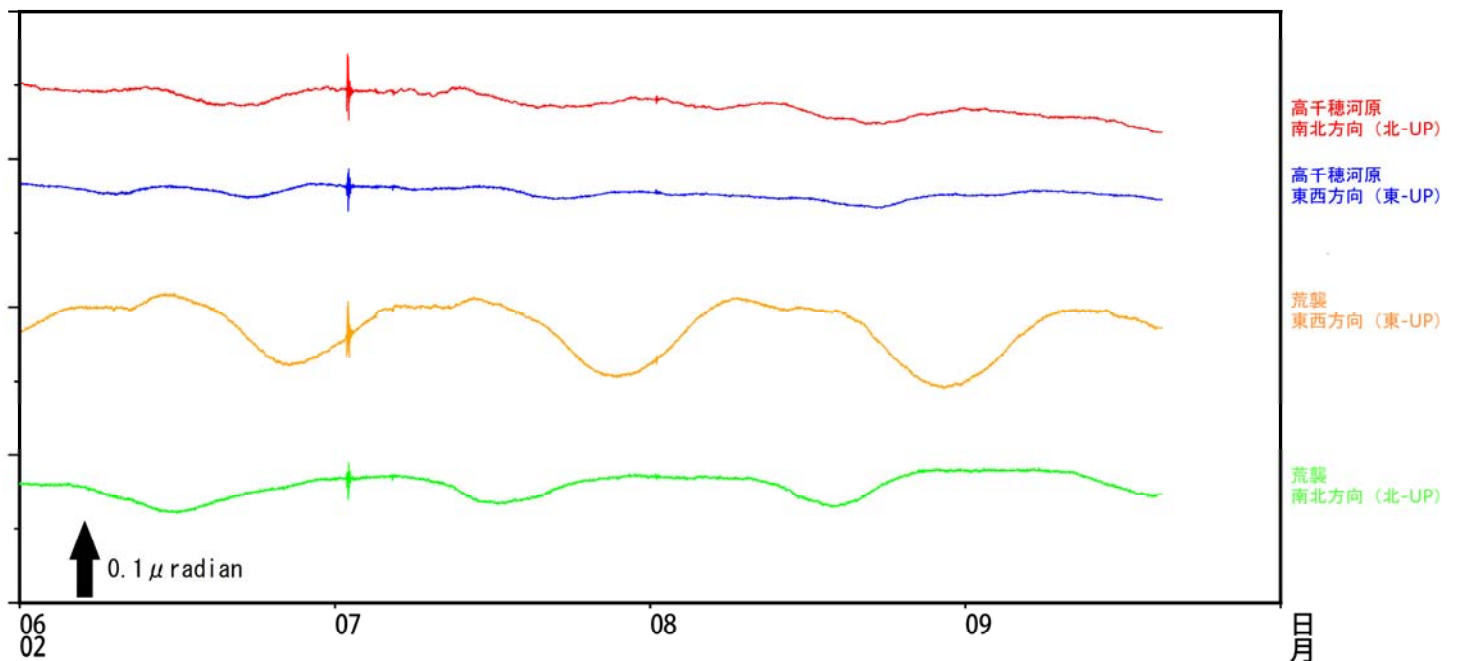


図 4 霧島山（御鉢） 御鉢周辺の傾斜変動（2 月 6 日 00 時 00 分～9 日 15 時 00 分）
（赤：高千穂河原南北方向、青：高千穂河原東西方向、黄：荒襲東西方向、緑：荒襲南北方向）

御鉢周辺の傾斜計では火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

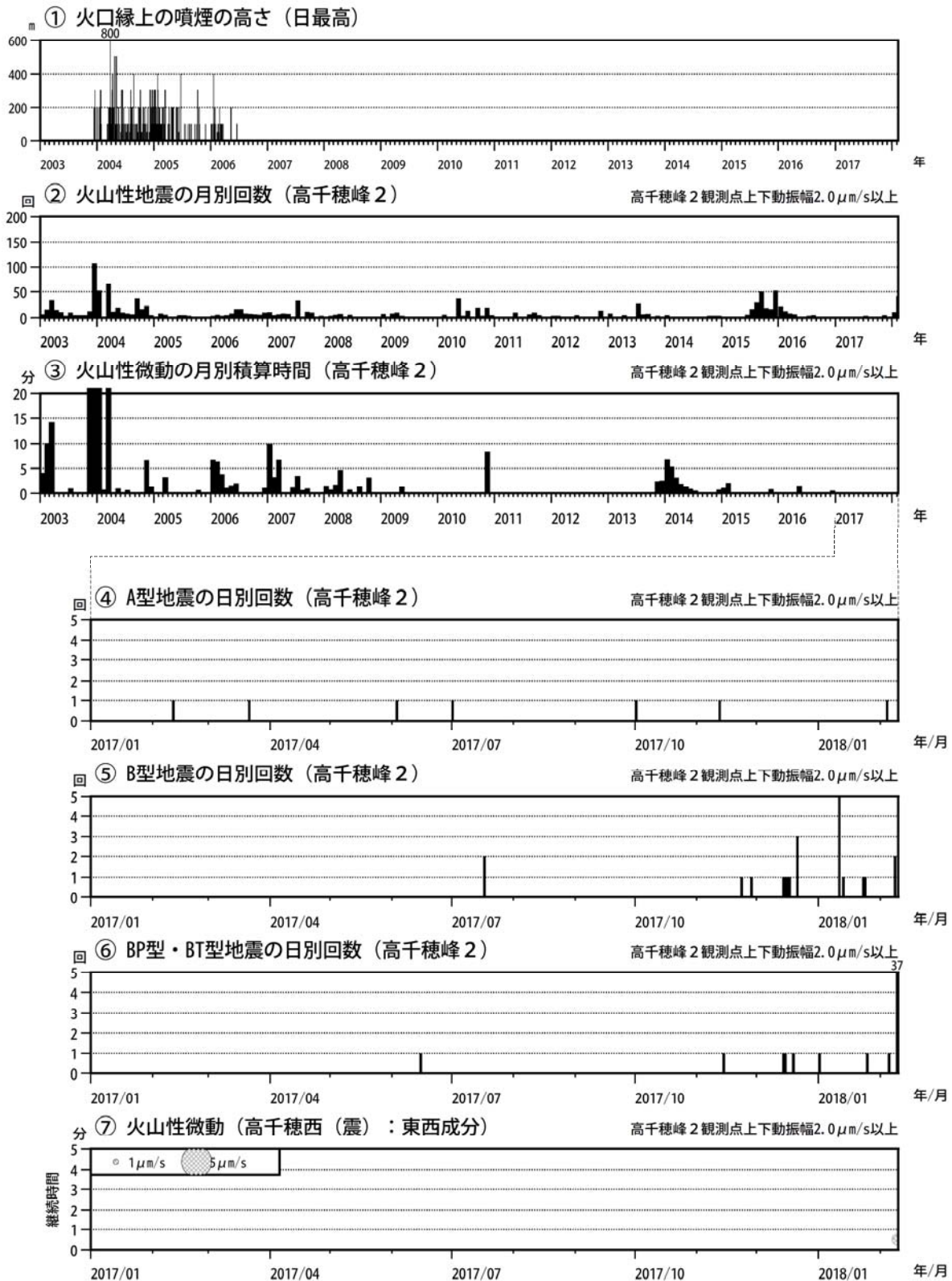


図 5 霧島山（御鉢） 火山活動経過図（2003 年 1 月 1 日～2018 年 2 月 9 日 15 時 00 分）

<2018 年 2 月 9 日（15 時 00 分まで）の状況>

- ・ 火口縁を越える噴煙は観測されていません。
- ・ 火山性地震が本日（9 日）08 時頃から増加し、11 時頃からさらに増加しています。
- ・ 14 時 44 分と 14 時 54 分には振幅が小さく継続時間が短い火山性微動が発生しました。

●噴火警戒レベルに応じて下記のような防災対応が必要になります。

レベル5（避難）：
危険な居住地域からの避難

レベル4（避難準備）：
警戒が必要な居住地域での避難準備。要援護者は避難等。

レベル3（入山規制）：
火口から概ね2～2.5km以内立入禁止
・活動初期及び活動期は概ね2.5km以内立入禁止
・活動安定期は概ね2km以内立入禁止

レベル2（火口周辺規制）：
火口から概ね1km以内の立入禁止
*高千穂河原まで、火口から約1.2km

レベル1（活火山であることに留意）：
火口内及び南側登山道の立入規制等。

- : 一般道
- : 登山道
- : 御鉢火口
- : 居住区域

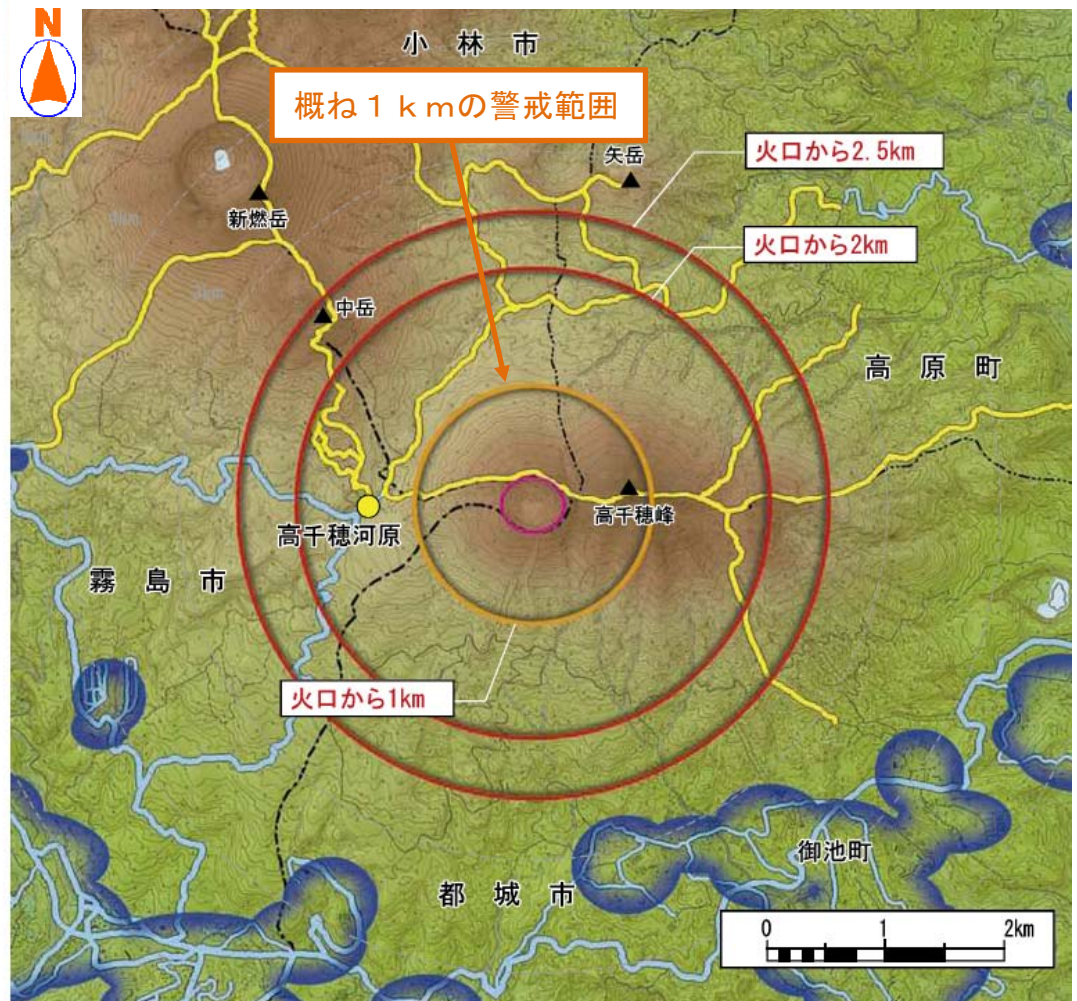


図6 霧島山（御鉢） 警戒が必要な範囲

御鉢火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

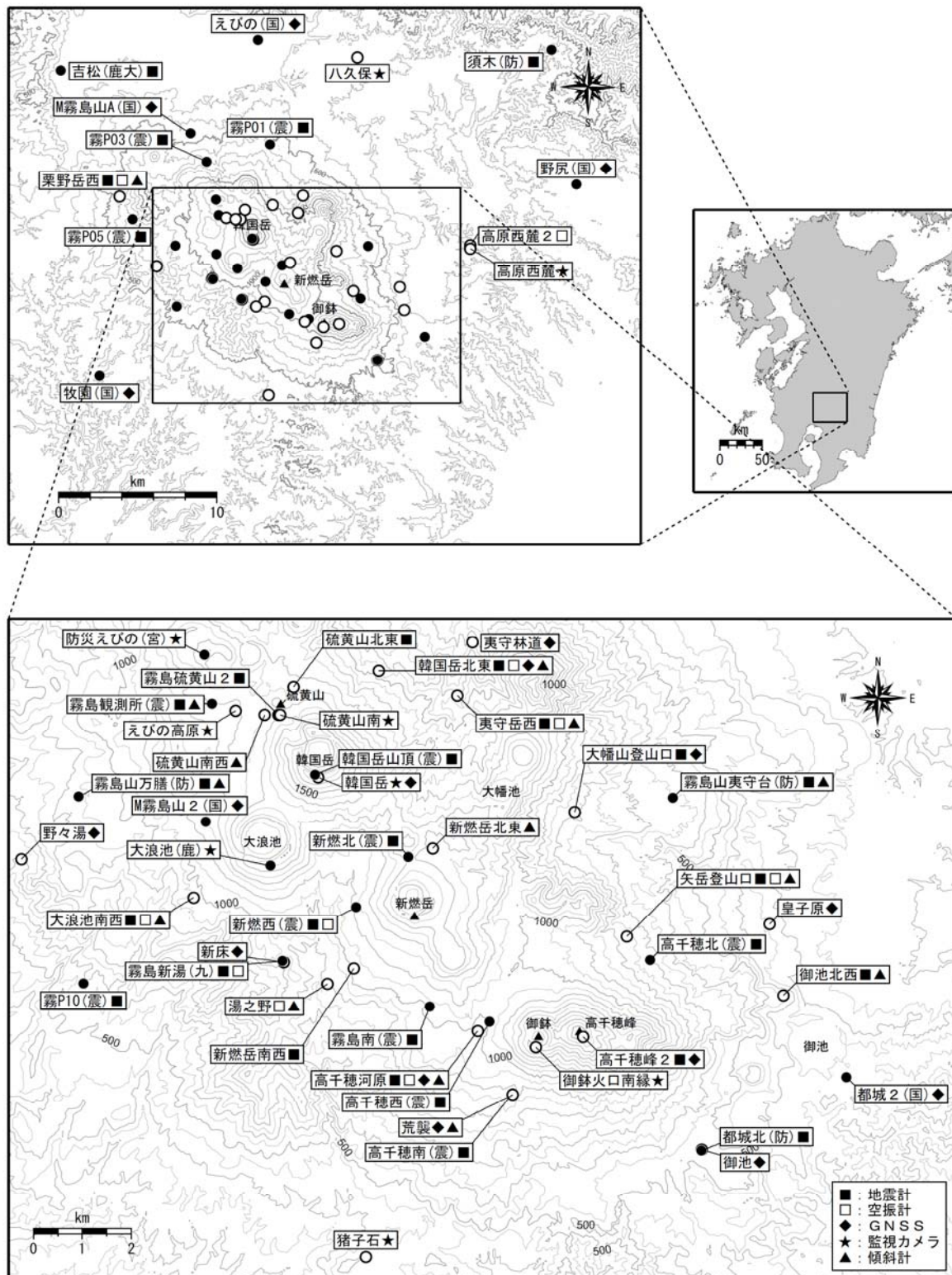


図7 霧島山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(震)：東京大学地震研究所

(九) : 九州大学、(鹿大) : 鹿児島大学、(宮) : 宮崎県、(鹿) : 鹿児島県